石田遺跡 発掘調査

石田遺跡で発掘調査を行っています。

　三重県埋蔵文化財センターでは、四日市市采女町に所在する石田遺跡の発掘調査を行っています。石田遺跡は内部川の右岸に位置し、周囲に水田が広がる低地の遺跡です。調査は一日ごとに埋め戻しながら進めています。

　調査では、溝や土坑（大きな穴）、柱穴などが見つかっています。土坑からは山茶椀と呼ばれる陶器が見つかりました。柱穴の一つからは、柱の根元部分とみられる木材が見つかりました。ほかにも、中国から輸入された青磁・白磁や銭貨も見つかっています。

　石田遺跡で見つかっている土器の多くは平安時代の終わりごろから室町時代にかけてのものだと考えられます。この時期に当時の人々が石田遺跡の周辺で活動していたことがうかがえます。

調査区の一部（東から）

中国から輸入された銭貨

柱根とみられる木材が見つかった柱穴（南東から）

問い合わせ先

〒515-0325　三重県多気郡明和町竹川503　三重県埋蔵文化財センター　担当 調査研究I課 村田
電話:0596-52-7028 FAX:0596-52-7035